

# キャリア教育全体計画

## 学校教育目標

豊かな感性と創造力を持ち、仲間と粘り強く取り組む生徒の育成

### 生徒実態・保護者の願い

(生徒)  
ほぼ全員が進学希望。卒業生の約5割が地元  
の世羅高校に進学する。  
(保護者)  
ほぼ全員が高校進学させたいと考えている。

### めざす生徒像

- ① 世羅で学んだことに誇りを持ち、  
胸を張ってふるさを語れる生徒
- ② 豊かな感性で、周りに関わり合  
い、励まし合いながら最後までね  
ばり強く取り組む生徒
- ③ 共に活動し、共に喜びあい、共に  
感動し、共に高まり合う生徒

## キャリア教育目標

- 自他共に認め合い、よりよい生活を築こうとする態度を育てる。
- 学ぶこと・働くことの意義や役割を理解し、幅広く情報を活用して、進路選択に生かす。
- 夢や目標を持ち、その実現に向けて努力する態度を育てる。
- 自ら選択・決定した課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとする態度を育てる。
- (本年度の重点目標)**
- 小中連携教育の新たな構築と積極的な中高連携の推進を図り、系統的な教育活動を行う。
- 教科、道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間等の相互連携を図った教育活動を推進する。
- せらゆめトライアル・ウィークの生徒満足度を96%以上にする。

## 学習指導要領等

教育基本法(第2条2)  
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。(総則 第1章第3の1(6))  
生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、生徒の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるよう工夫すること。(総則 第1章第4の1(3))  
生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としてしつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。その中で、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行うこと。

## 各学年の指導目標

1 学年	2 学年	3 学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢と希望をもって充実した学校生活を送ろうとする態度を育てる。</li> <li>○ 自己を見つめ、よりよい生活をめざすとともに、他者の良さや感情を理解し、尊重する態度を育てる。</li> <li>○ 基本的な生活習慣及びルール・マナーを身に付けさせる。</li> <li>○ 調べ学習等を通して、働くことへの関心を高めるとともに、様々な職業の社会的役割や意義を理解させ、自己の生き方を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な活動の中での自己の立場や果たすべき役割を理解し、積極的に活動する態度を育てる。</li> <li>○ 人間関係の大切さを理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</li> <li>○ 職場体験活動を通して働くことの意義や働く人々の思いを理解させるとともに、自己の適性や将来の生き方について考えさせる。</li> <li>○ 進路計画を立てる意義や方法を理解させ、自分がめざすべき将来を暫定的に計画できる力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習活動や学校行事等において、最高学年として他学年をリードするとともに、仲間と協力してやり遂げる態度を育てる。</li> <li>○ 将来の進路希望及び様々な情報に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する態度を育てる。</li> <li>○ 相談活動を充実させ、卒業後の進路を決定させる。</li> <li>○ 中学校での学習や進路選択の過程を振り返ることを通して将来への目標・課題を明確にさせる。</li> </ul>

総合的な学習の時間	特別活動	特別の教科 道徳	各教科	行事・その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら課題を見つけ、主体的に判断し、問題を解決する力を育てる。</li> <li>○ 問題解決的な学習や体験的な学習を通して、自己の生き方を考えさせる。</li> <li>○ 言語技術を身につけるとともに、その活用を通して、表現力・コミュニケーション能力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒一人一人が自己存在感を持ち、人間関係を深め、よりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。</li> <li>○ 生徒が現在及び将来の生き方を考えることができる力を育てる。</li> <li>○ 学級活動、生徒会活動、学校行事等の集団活動を通して、自主性、社会性の伸長を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己を見つめ、自他共によりよく生きようとする心を育てる。</li> <li>○ 夢や目標の実現に向けて努力し、困難を克服しようとする態度を育てる。</li> <li>○ 働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、社会に奉仕する喜びを知り、公共のために役立つことのできる力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学ぶことの意義を理解させ、意欲的な学習態度の形成を図る。</li> <li>○ 学習目標を持たせ、主体的・計画的に取り組む力を育てる。</li> <li>○ 基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年や異年齢集団での活動を通して、計画・実施・まとめなどの活動を主体的・協力的に行うことができる力を育てる。</li> <li>○ 適切な相談活動を通して、個性を生かす指導・支援を行う。</li> <li>○ 保護者や地域、小学校、高等学校等の関係機関との連携を図る。</li> </ul>

## ○身に付けたい資質・能力・態度の枠組み

中学生期のキャリア発達の段階 = 現実的探索と暫定的選択の時期			
キャリア発達課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>肯定的自己理解と自己有用感の獲得</li> <li>興味・関心等に基づく職業観・労働観の形成</li> <li>進路計画の立案と暫定的選択</li> <li>生き方や進路に関する現実的探索</li> </ul>	
キャリア発達にかかわる諸能力		各能力におけるキャリア発達を促すための具体的要素	
基礎的・汎用的能力	能力	能力説明	
	人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて、自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の個性を理解する力</li> <li>他者に働きかける力</li> <li>コミュニケーションスキル</li> <li>チームワーク</li> <li>リーダーシップ</li> </ul>
	自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の役割の理解</li> <li>前向きに考える力</li> <li>自己の動機づけ</li> <li>忍耐力</li> <li>ストレスマネジメント</li> <li>主体的行動</li> </ul>
	課題適応能力	<p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。</p> <p>自らが行うべきことに意欲的に取り組む上で必要なものであり、また、知識基盤社会の到来やグローバル化等を踏まえ、従来の考え方や方法にとらわれずに物事を前に進めていくために必要な力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の理解・選択・処理等</li> <li>本質の理解</li> <li>原因の追及</li> <li>課題発見</li> <li>計画立案</li> <li>実行力</li> <li>評価・改善</li> </ul>
	キャリアプランニング能力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶこと・働くことの意義や役割の理解</li> <li>多様性の理解</li> <li>将来設計</li> <li>選択</li> <li>行動・改善</li> </ul>